

日本語の複合格助詞「に関して」「について」と

中国語の前置詞“关于”“对于”の対照

A Contrastive Study of the Japanese Complex Postpositions *ni kansite* and *ni tsuite* and Chinese Complex Prepositions *guan yu* and *dui yu*

尚 明 輝

SHANG Minghui

This paper provides a contrastive study of Japanese complex case particles and Chinese complex prepositions, particularly focusing on the difference between *ni kansite* and *ni tsuite* of Japanese, and *guan yu* and *dui yu* of Chinese. Japanese postpositional phrases are more flexible in terms of syntactic structure. In contrast, Chinese prepositional phrases are placed between the subject and the verb. When a prepositional phrase is placed before the subject, a pause must be placed after the prepositional phrase. When taking a clause as a topic, Japanese simply uses the topic particle *wa* after a postpositional phrase, whereas Chinese uses an adnominal clause and a noun. The selection of complex prepositions is determined by the semantic relationships between the noun and the main predicate verb.

キーワード： 複合格助詞、前置詞、統語

Keywords: Complex postposition, Complex preposition, Syntax

1. はじめに

本稿は尚明輝 (2022) の内容に基づいて、日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“关于”“对于”の対照を行うものである。

日本語記述文法研究会(2009b:11)では、複合格助詞を「格助詞+動詞のテ形/連用形」「格助詞+名詞+格助詞」「の+名詞+格助詞」といった形式が固定化して、格助詞相当の機能をもったものを複合格助詞という」と定義される。庵他(2001)によると、複合格助詞は意味から「対象」、「手段・原因」、「状況」、「資格・立場」などに分類される。本稿は対象を表す複合格助詞「に関して」「について」とそれに対応する前置詞“关于”“对于”を対照するものである。

劉笑明・吉田(2004:104)が示すように、以下の二つの例文では「について」「に関して」

を中国語“关于”に訳すことができる。

(1) アフガニスタンの情勢について新しい情報が入りました。

(关于阿富汗的形式，又有了新的情报。)

(2) その事件に関して学校から報告があった。

(关于那件事，已经得到了学校的报告。)

(劉笑明・吉田 2004:104)

また劉笑明・吉田(2004:105)によると、(3)と(4)の如く、「について」「に関して」は“对于”に訳すこともでき、“对于”と“关于”は置き換えられることになる。

(3) その問題に関して質問したいことがある。

(对于(关于)那个问题，我想咨询一下。)

(4) エネルギー節約の提言について誰もが大賛成だ。

(对于(关于)节能的建议，大家都很赞成。)

(劉笑明・吉田 2004:105)

ところが、市川(2017b:19)によると、以下の例文の如く、“关于”を日本語の複合格助詞「に関して」に訳すことができない場合もある。

(5) 现在 请 谈一谈 关于 日本 的情况。

(今から どうぞ 話す PREP 日本 の 情况)

*a. (今から日本に関して話してください。)

b. (今から日本について話してください。)

(市川 2017b:19)

本稿では、日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“对于”“关于”の相違点及び対応関係を明らかにする。

2. 先行研究と問題点

本節では、日本語の複合格助詞と中国語の前置詞に関する先行研究を概観し、問題点を提出する。

(i) 日本語の複合格助詞に関する先行研究

日本語記述文法研究会(2009b:11)では、「格助詞+動詞のテ形/連用形」「格助詞+名詞+格助詞」「の+名詞+格助詞」といった形式が固定化して、格助詞相当の機能をもったものを複合格助詞という」と指摘している。庵他(2001:14)では、「名詞句と述語との関係を表す格助詞には「が・を・に・へ・と・から・より・まで・で」がありますが、「について」や「によって」などの形式がこれらの格助詞の代わりに名詞句と述語との関係を表すことがあります。このような格助詞相当の形式を複合格助詞といいます」と述べられる。

しかし、日本語記述文法研究会(2009b:11)と庵他(2001:14)は連体修飾フレーズに使われる「連体表現」と主題を表す場合に使われる「は」が付く複合格助詞が含まれていない。以上の二つの先行研究にある複合格助詞の定義に基づき、理解しやすいため、本稿では、以下のように複合格助詞を定義する。

「複合格助詞」:複合格助詞は、「格助詞+動詞のテ形/動詞の連用形(主題〔+は〕/連体表現〔辞書形・ての形〕)」と「格助詞/「の」+名詞+格助詞」のように形式が固定され、名詞(句)と述語の関係を表す格助詞と相当の機能を持つ複合形式である。

まつもと(1979:249)によると、「ひとへの態度のときの<~にたいして>より、<~について>、<~にかんして>のほうが、ものごとへの態度ではよくでてくる」である。そして、<ドイツ人にたいしてはなす>と<ドイツ人についてはなす>の二つの例文を使用し、ものごとへの態度の<について>より、ひとへの態度の<にたいして>は対象への方向性がきわだつことを証明した。ただし、ものごとへの態度<について>と<にかんして>の相違点を研究していない。

中西・庵(2010:5)によると、「に関して」は「について」の書き言葉的表現であることを指摘している。

(6) 今日は日本経済の問題点についてお話ししましょう。

(中西・庵 2010:5)

(7) この論文では、日本経済の問題点に関して詳しく論じる。

(中西・庵 2010:5)

中西・庵(2010:5)を踏まえながら(6)と(7)を分析すると、(6)は話し言葉であり、(7)は書き言葉であることが明らかにした。けれども、「に関して」と「について」の違いについて詳しく検討していない。

(ii) 中国語の前置詞に関する先行研究

劉月華他(1996:220)では、前置詞を「介詞¹(介詞)は名詞や代詞或いは一部のフレーズの前に置かれて、介詞フレーズを構成し、動詞や形容詞を修飾するのに用いられる語である」と定義される。

朱徳熙(1995:234)では、「現代中国語において用いられる前置詞はすべて動詞から変化してきたものであり、大部分はいまなお動詞の機能を留めている」と指摘している。

中西(2010:35)では、「現代中国語の前置詞(介詞)は動詞を起源とし、虚化を経てきたものである」と記述している。

劉月華他(1996:220)は前置詞が文中の成分と役割から定義した。朱徳熙(1995:234)と中西(2010:35)は前置詞の歴史的変化から記述する。

しかしながら、朱徳熙(1995:234)、中西(2010:35)と劉月華他(1996:220)は前置詞が文中で表す意味を述べていない。本稿は以下のように、意味と用法から前置詞を定義する。

「前置詞」:名詞や代詞或は一部のフレーズの前に置かれ、前置詞フレーズをつくり、対象、方向、場所、時間、原因等を表し、動詞や形容詞を修飾するのに用いられる語である。

呂叔湘(1999:240)では、“关于表示关联、涉及的事物，对于指出对象”「“关于”は関連、関わる事物を表し、“对于”は対象を指摘する」と記述される。

(8) 关于 这个问题，我直接跟老王联系。
(PREP この問題 私直接と王さん連絡する)
(この問題について、私は王さんと連絡します。)

(呂叔湘 1999:240)

(9) 对于 这个问题，我直接跟老王联系。
(PREP この問題 私直接と王さん連絡する)
(この問題について、私は王さんと連絡します。)

(呂叔湘 1999:240)

この二つの例文を分析し、“联系”「連絡する」の内容は同じく“这个问题”「この問題」である。呂叔湘(1999:240)は「“关于”は関連、関わる事物を表し、“对于”は対象を

¹ 「介詞」は「前置詞」と同じである。ただ、中国語で「介詞」と呼び、日本語で「前置詞」と呼ぶ。本稿は統一するために、「前置詞」の呼び方を使う。

指摘する」を提出したが、「关于」と「对于」を分けにくく、はっきりではない。

また、刘富华・古川(2013:125)は「关于」と「对于」の違いについて、「对于」は対象を明示することに対して「关于」は範囲を明示し、対象であり範囲でもある場合には両方とも使用できることが記述した。しかし、石毓智・李讷(2001:384)は「关于」と「对于」は同じく範囲を引き出すに分類され、矛盾である。それに、この二つの先行研究は同じく「範囲」を使ったが、「範囲」を定義していない。

(iii) 日本語の複合格助詞と中国語の前置詞の対照に関する先行研究

劉笑明・吉田(2004)では、日本語文における連用修飾節としての「に対して」「にとって」「について」「に関して」を取り上げ、意味と用法から分析した。また、この四つの複合格助詞²の対応する中国語の前置詞を対照し、相似及び相違を明らかにした。しかし、複合格助詞は連体修飾フレーズに使う連体表現と、主題を表す場合に使う「格助詞+動詞のテ形/動詞の連用形(+は)」について、劉笑明・吉田(2004)は検討していない。

馬小兵(2002)では、日本語の複合格助詞「について」と中国語の前置詞「关于」の対応関係を研究した。しかし、学習者が混同されやすい日本語の複合格助詞「に関して」と中国語の前置詞「对于」が含まれていない。日中語に相似と相違についても検討していない。

上述の先行研究をまとめると、対象を表す複合格助詞「に関して」「について」の相似及び相違、対応する前置詞「关于」「对于」の相似及び相違については、管見の限り明らかにされていない。その上に、対照言語学的手法を用い、「統語」「主題」「形式と意味」から日中語の相違点及び対応関係を分析する研究は見られない。

3. 統語上から見た複合格助詞「に関して」「について」と前置詞「关于」「对于」

本節では、「語順³」と「連体修飾フレーズ」の二つの統語上の特徴から日本語と中国語の相違点及び対応関係を判断する。

3.1 語順から見た日中語

日本語の基本語順は「主語+目的語+述語」である。以下の例文には同じく主語が文頭に置き、「先行名詞+複合格助詞」は主語の後ろに置かれ、先行名詞は文末の動詞述語の目的語である。

² 複合格助詞は助詞と相当の機能を持つ複合形式である。複合格助詞は複合格助詞、複合接続助詞、複合助動詞等がある。本稿は複合格助詞の一つ複合格助詞について検討する。

³ 庵他(2000:330)では、「文は補語や修飾語や述語が集まって作られます。この各要素の配列を語順と言います」と定義した。

(10) 李さんは、前記の訴えに関して下院に説明した。

(11) 私は中部地方の方言に関して調べました。

(12) 私は企業経営の方法について知りたいです。

(13) 彼はこの問題についてまだ理解していない。

ところが、以下の例文が示すように、文頭の主語が省略されることもできる。

(14) この事件に関して、警察にたくさん情報が集まった。

(15) 中部地方の方言に関して調べました。

(16) 寮の食事の問題について管理人さんと交渉しました。

(劉笑明・吉田 2004:102)

(17) 日本での生活について話をした。

また、多くの例文を調べ、以下のように「名詞(句)+複合格助詞」は主語の前に置くこともできる。この場合には、語順は「目的語+主語+述語」になる。

(18) そのことに関しては、あなたが一番よく知っておられるはず。

(19) 彼自身の指揮による三月二十二日のベルリン初演について、シュトラウスは二日後に父親に報告している。

(『R.シュトラウス』)

(20) これに関して通産省はどのように受け止めておられますか?

(21) これについては私も深く反省しています。

(『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』)

一方、中国語の基本語順は日本語の「主語+目的語+述語」と異なり、「主語+述語+目的語」である。

(22) 我 想 了解 一下 关于 日本 的 企业经营 方法。
(私 たい 知る 助詞 PREP 日本 の 企業経営 方法)
(私は日本の企業経営の方法について知りたいです。)

(23) 我 讲述 了 关于 日本 的 历史。
(私 話をする 了, PREP 日本 の 歴史)
(私は日本の歴史について話をした。)

(24) 我 对于 语言学 很 感兴趣。
(私 PREP 言語学 たいへん 興味を持つ)
(私は言語学についてたいへん興味を持っている。)

(25) 他 对于 这个问题 还 不 理解。
(彼 PREP この問題 副詞 否定 理解する)
(彼はこの問題についてまだ十分に理解していない。)

以上の前半の二つの例文は“关于”の例文であり、「关于」+後続名詞「日本」の前置詞フレーズは動作の対象“企业经营方法”「企業経営の方法」を修飾する。つまり、「关于」+後続名詞は目的語の連体修飾フレーズ⁴として使われる。そこで、“关于”の(22)と(23)の例文は基本語順である。

後半の二つの例文は“对于”の例文であり、“关于”の例文と異なり、「对于」+後続名詞は動詞の前に置かれる。林松濤(2017:53)では、「关于」と“对于”の違いは、“关于”は範囲を表し、“对于”は対象を表すということです」と指摘している。しかし、「範囲」については、刘富华・古川(2013:125)、石毓智・李讷(2001:384)と同じく定義されない。本稿では、「範囲」を「ある限定された領域について言語活動、認識活動や態度を表す行為をする」と定義する。つまり、(22)の認識活動を表す動詞“了解”「知る」と(23)言語活動を表す動詞“讲述”「話をする」の対象(領域)は“企业经营方法”「企業経営の方法」と“历史”「歴史」であるが、「关于」+後続名詞は対象“企业经营方法”「企業経営の方法」「历史」「歴史」の領域を限定する。(24)と(25)の後続名詞の“语言学”「言語学」「这个问题」「この問題」は動詞“感兴趣”「興味を持つ」「理解」「理解する」の対象である。言い換えると、「对于」+後続名詞は連用修飾フレーズとして使われる。

⁴ 中国語では、「連体修飾フレーズ」は“定语”と呼ばれる。本稿は日本語と統一するため、「連体修飾フレーズ」を使う。

(26) *想 了解 一下 关于 日本 的 企业 经营 方法。
(たい 知る 助詞 PREP 日本 の 企業 経営 方法)
(日本の企業経営の方法について知りたいです。)

(27) *讲述 了 关于 日本 的 历史。
(話をする 了₁ PREP 日本 の 歴史)
(日本の歴史について話をした。)

(28) *对于 语言学 很 感兴趣。
(PREP 言語学 たいへん 興味を持つ)
(言語学についてたいへん興味を持っている。)

(29) *对于 这个问题 还 不 理解。
(PREP この問題 副詞 否定 理解する)
(この問題についてまだ十分に理解していない。)

また、(26)から(29)までの四つの例文の如く、主語を省略すると、非文になる

(30) 关于 这个 建议, 大家 都 很 赞成。
(PREP この 提言 みんな 副詞 とても 賛成する)
(この提言について誰もが賛成だ。)

(31) 对于 这些 问题, 我 进行 了 长达 九年 的 分析。
(PREP これら 問題 私 行う 了₁ 及ぶ 九年 の 分析)
(これらの問題について、私は九年に及ぶ分析をした。)

(林松濤 2017:39)

(22)から(25)までの四つの例文と異なり、この二つの例文の前置詞フレーズは文の主題として文頭に置き、後半の叙述の節との間にポーズが入っている。もし、このポーズを取り去ると、前置詞フレーズは後ろの動詞述語文⁵と合わせる必要がある。そうすると、以下の例文になる。

⁵ 瀬戸口(2003:12)では、「動詞が述語の主な部分を形成して、動作・行為を叙述する文を「動詞述語文」といいます」と述べられている。

(32) *大家 都 很 赞成 关于 这个 建议。
 (みんな 副詞 とても 賛成する PREP この 提言)
 (この提言について誰もが賛成だ。)

(33) 我 对于 这些 问题 进行 了 长达 九年 的 分析。
 (私 PREP これら 問題 行う 了₁ 及ぶ 九年 の 分析)
 (これらの問題について、私は九年に及ぶ分析をした。)

しかし、(32)は非文になり、(33)が成立できる。なぜなら、ポーズが挿入している(30)と(31)の前置詞フレーズは連用修飾フレーズとして使われる。楊徳峰(2010:124)では、「“关于”は連用修飾語になり、主語の前にのみ置くことができます。“对于”は主語の前にも後ろにも置くことができます」と指摘している。その為、“关于”を使う(32)は非文になる。

以上をまとめると、日本語と中国語は両方とも「先行名詞+複合格助詞」或は前置詞フレーズが主語の前に置かれる。ただし、中国語はポーズに影響される。もし、ポーズが挿入しないと、前置詞フレーズは主語の前に置かれなく、文の中に置く。その際に、“关于”と“对于”の前置詞フレーズは文の成分により決まれる。日本語はポーズに影響されないため、(18)から(21)までのようにポーズが挿入しても挿入しなくても成り立つ。また、(14)から(17)までの日本語の例文の如く、日本語の主語は省略できることに對し、(26)から(29)までの中国語の例文の如く、中国語の主語は省略できない。

3.2 連体修飾フレーズにおける日中語

本節では、日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“关于”と“对于”は連体修飾フレーズに使われるなら、日中語の対応関係を明晰にする。

金仙姫(1992:43)によると、「後置詞の連体表現には(ア)連体格助詞の「の」を付加する方法と、(イ)動詞部分を連体形にする方法の二種類がある」と記述している。

	(ア)	(イ)
～について	～についての	×
～に関して	～に関しての ⁶	に関する

⁶ 金仙姫(1992:44)によると、「～に関しての」が用いられた例が少ないため、本稿は「～に関しての」を検討しない。

(34) a. 職業に関する講演会を行った。

b. 職業についての講演会を行った。

(金仙姫 1992:47 より改変)

(35) a. 国際交流に関する記事を書いている。

b. 国際交流についての記事を書いている。

(金仙姫 1992:48 より改変)

(36) a. 糖質についての研究を行っている。

b. 糖質に関する研究を行っている。

(金仙姫 1992:47 より改変)

(37) a. 彼についての記事を読む。

b. 彼に関する記事を読む。

(金仙姫 1992:48 より改変)

(38) a. 未来の理想境についての話をする。

?b. 未来の理想境に関する話をする。

(金仙姫 1992:48 より改変)

まずは(34)から(37)までの四つの例文を概観すると、「先行名詞+複合格助詞の連体形+被修飾名詞⁷+格助詞+動詞」の構造であり、「先行名詞+複合格助詞」は名詞修飾部分として被修飾名詞を修飾する。しかも、先行名詞の「職業」や「糖質」などは被修飾名詞「講演会」や「研究」の具体的内容或は話題である。これらの例文の「先行名詞+複合格助詞の連体形+被修飾名詞」は動作の対象である。金仙姫(1992:43)では、「調査」「研究」「講演会」「討論会」「記事」「本」は知的行為⁸もしくは知的行為所産を表す語であると同時に、タイトル(内容の提示)を要求する性質が強い語である。つまり、これらの用例ではC⁹部分は内容を持つものであり、その内容に当たるのがA部分である。これらの用例ではいずれの場合でも「についての」とともに「に関する」の用例も多く見られた」と指摘している。そこで、この四つの例文の「に関する」と「についての」が置き換えられる。

また、金仙姫(1992:48)によると、「に関する」は題名として提示するA部分は具体的事実である方が共起しやすいということが窺える」である。(38)の「未来の理想境」は具体的事実ではなく、空想であり、思考の産物である。したがって、(38)は「についての」しか使

⁷ 庵他(2000:185)では、「名詞修飾で修飾される名詞を被修飾名詞(或は主名詞)と言います」と指摘している。

⁸ 本稿では、知的行為を「知識を学ぶ或は研究結果やデータを得るための行為」と定義する。

⁹ 金仙姫(1992:45)によると、Aの部分は複合格助詞の先行名詞の部分であり、Cの部分は被修飾名詞の部分である。

えない。

一方、马贝加(2014:1029)、林松濤(2017:52)と吕叔湘(1999:240)などによると、“关于～”は名詞の修飾語として使われる。つまり、前置詞フレーズは連体修飾フレーズとして使われる。本節では、马贝加(2014)が提起した「关+于+NP+的+NP」を踏まえながら分析する。

(39) 儿童 母亲 询问 医生 关于 儿童保健 的 基本知识。

*儿童 母亲 询问 医生 对于 儿童保健 的 基本知识。

(子供 母親 尋ねる お医者さん PREP 子供の健康 の 基礎知識)

(子供の母親はお医者さんに子供の健康についての基礎知識を尋ねる。)

(40) 民间 流传 着 不少 关于 屈原 的 传说。

*民间 流传 着 不少 对于 屈原 的 传说。

(民間 残る 助詞 多く PREP 屈原 の 言い伝え)

(民間に屈原に関する言い伝えが多く残っています。)

(林松濤 2017:53 より改変)

(41) 到处 都 在 召开 关于 著作权 的 研讨会。

*到处 都 在 召开 对于 著作权 的 研讨会。

(あちこち 副詞 助詞 開く PREP 著作権 の 勉強会)

(あちこちで著作権についての勉強会が開かれている。)

(42) 国家 制定 了 关于 保护 个人信息 的 法律。

*国家 制定 了 对于 保护 个人信息 的 法律。

(国 制定 了, PREP 保護 個人情報 の 法律)

(個人情報の保護に関する法律が制定された。)

(市川 2017b:23 より改変)

(43) 我 和 朋友 谈 了 一下 关于 未来 理想 的 话题。

*我 和 朋友 谈 了 一下 对于 未来 理想 的 话题。

(私 と 友達 話す 了, 助詞 PREP 未来 理想 の 話題)

(私は友達と未来の理想についての話をした。)

これらの例文の前置詞フレーズ“关于儿童保健”「子供の健康についての」と“关于屈原”「屈原に関する」は動詞の“询问”「尋ねる」と“流传”「残る」の対象ではなく、被修飾名詞“基础知识”「基礎知識」「传说」「言い伝え」の詳しい内容である。つまり、前置詞フレーズは連体修飾フレーズとし、動作の対象の範囲を限定するため、“对于”が使えない。

以上の日中語をまとめると、日本語の「に関して」「について」は連体修飾フレーズに使われると、「に関する」「についての」のように形態が変わる。日本語に対し、中国語の“关于”は形態の変化がないが、全部「“关于”+NP+的+NP」になる。しかも、“关于”しか使えない。以上をまとめ、[表1]を作成した。[表1]は、統語から見た日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“关于”“对于”の相違点及び対応関係を示すものである。

表1 統語から見た複合格助詞「に関して」「について」と前置詞“关于”“对于”

		日本語	中国語
語順	主語の省略	○	×
	ポーズの影響	×	○
	主語の前に置く	○	○
連体修飾フレーズ	先行名詞→具体的な事実 被修飾名詞→知的行為 (所産)	についての に関する	关于…的
	先行名詞→具体的な事実 ではない(空想)	についての	

(○は可能を表す。×は不可能を表す。)

[表1]が示すように、語順から日中語を対照すると、共通点は日本語の「先行名詞+複合格助詞」と中国語の前置詞フレーズの両方とも主語の前に置かれるということである。相違点は二つがある。一つは、日本語の主語が省略できるが、中国語の主語が省略できないことである。いま一つは、日本語がポーズに影響されないが、中国語がポーズに影響されることである。

次に、連体修飾フレーズにおける日中語の対応関係について明らかにした。中国語は連体修飾フレーズに使われるなら、“关于…的”しか使えない。これに対して、日本語は先行名詞と被修飾名詞に影響される。もし、被修飾名詞は内容を持つ知的行為であり、先行名詞は被修飾名詞の内容に当たる具体的な事実なら、「についての」と「に関する」が置き換えられる。もし、先行名詞は具体的な事実ではなく、空想であるなら、「についての」だけが使える。

4. 主題から見た複合格助詞「に関して」「について」と前置詞“关于”“对于”

日本語記述文法研究会(2009a:175)によると、「主題とは、その文が何について述べるのかを示すものである」である。

日本語記述文法研究会(2009a:176)では、「文を構成する成分のうち、主題になることができるのは、格成分、名詞を修飾する名詞、被修飾名詞、述語を含む節である。副詞的成分や従属部は、基本的に主題にならない」と指摘している。

野田(1996)では、主題になれる「格成分」、「格成分の連体修飾部」、「述語名詞の連体修飾部」、「被修飾名詞」、「節」、「破格」から分析した。

本節では、述語を含む「節」が主題になる場合に、日中国語の対応関係、主題になる日中国語の節の特徴と文の形式を明らかにする。

4.1 日本語の複合格助詞「に関して」「について」

日本語記述文法研究会(2009a:232)では、「「については」類(「「については」」「「に関して」」)は、あるものだけに限定した叙述を行う場合に、主題を提示するのに用いられる。「「については」」類は、言語活動や思考活動の動作が向けられる対象を主題として提示するのにも用いられる」と指摘している。

(44) 当該の実質科学的理由によって予測変数を選ぶことに関しては、回帰分析と全く同じやり方である。

(『金鉱を掘り当てる統計学』)

(45) 医療サービスに需要が存在するかどうかについては、現在においても医療経済学者の間での hot issue である。

(『医療サービス需要の経済分析』)

(46) 内因性物質によってある種の栄養素トランスポーターの活性が調整されることに関してはすでにいくつかの研究がある。

(47) 自分が何者で、どこから来たのかについては、いずれゆっくり考えるわ。

(『ダ・ヴィンチ・コード』)

三枝(2008:11)では、「これらの「「については」」「「に関して」」「「をめぐって」」は既知のことながらを取り上げており、主題に近い働きをしていると考えられる。これらの文で、全体を主題の「「は」」「「には」」に置き換えられる」と指摘している。したがって、複合格助詞の前の部分は既知のこと(旧情報)である。「「に関して」」「「については」」の後の部分は旧情報を解説するため、この叙述の節が新情報である。

日本語記述文法研究会(2009a:232)を踏まえながら意味から分析すると、(44)から(46)までの三つの例文は「に関しては」と「については」の前の節だけに限定した叙述を行う。(47)は限定した物事に思考活動の動作をするという意味を表す。

形式から見ると、以上の例文は同じく「に関して」と「について」の後ろに主題を表す「は」が付いている。そして、「については」「に関しては」の前は名詞ではなく、述語を含む節である。つまり、「節+については/に関しては+叙述の節」の構造である。

しかし、述語を含む節と複合格助詞「については」「に関しては」とくっつける所に「こと」、「かどうか」と「のか」がある。したがって、(44)と(46)の複合格助詞の先行の節は名詞節¹⁰であり、(45)と(47)の複合格助詞の先行の節は疑問引用節¹¹である。

以上をまとめると、複合格助詞「に関して」と「について」は主題を表す場合には、主題を表す「は」を付ける。それとともに、先行するのは名詞ではなく、述語を含む節であるなら、その節が疑問引用節或は名詞節である。

4.2 中国語の前置詞“关于”“对于”

刘月华他(2001:911)では、“话题是说明、评论的对象，而说明是对话题的说明、评论。在结构上，通常话题是一个句子句首的名词性成分。如果句子中有已知信息，话题一定是已知信息，而说明通常是新信息。也有人把话题叫主题，把说明叫评论。”「話題は説明、評論の対象であり、説明は話題への説明、評論である。構造上には、話題は常に文頭にある名詞成分である。文の中に既知のことがあるなら、話題は必ず既知のことであり、説明は常に新情報である。ある人は話題を主題と呼び、説明を評論と呼ぶ」と指摘している。

(48) 关于 该 不该 带 手机 上 学 的 这件事，
*对于 该 不该 带 手机 上 学 的 这件事，
(PREP べき べきではない 持つ 携帯電話 行く 学校 の この件

仍 是 一 个 热门的 话题。

仍 是 一 个 热门的 话题。

まだ 判断動詞 数詞 量詞 ホット 話題)

(学校に携帯電話を持っていくべきかどうかについては、今でもホットな話題です。)

¹⁰ 市川(2017a:239)では、“句子由于加上「こと、の」而富有与名词性相同的性质，叫做名词化。被名词化的内容叫做名词性从句”「節に「こと、の」を加えるため、名詞と同じ性質をもつことを名詞化と呼ぶ。名詞化された内容を名詞節と呼ぶ」と定義した。

¹¹ 市川(2017a:235)では、“把疑问句放到主句当中的这个成分，称为疑问引语从句”「疑問節を主節の中に入れられることを疑問引用節と呼ぶ」と定義した。

(49) 关于 他们 结不结婚 的 这件事, 你 得 问 他们。
 对于 他们 结不结婚 的 这件事, 你 得 问 他们。
 (PREP 彼ら 結婚するかどうか の この件 あなた 助詞 尋ねる 彼ら)
 (彼らが結婚するかどうかについては、彼らに尋ねなければならない。)

(50) 关于 怎样 提高 工作效率 的 问题, 部长 想 出 了 解决方案。
 对于 怎样 提高 工作效率 的 问题, 部长 想 出 了 解决方案。
 (PREP どんな 向上 作業効率 の 問題 部長 考える 結果補語 了₁ 解決策)
 (作業効率をどのように向上させるのかについては、部長が解決策を出した。)

刘月华他(2000:911)を踏まえながらこの三つの例文を考えると、「前置詞+節¹²+的+名詞」は文頭に置き、既知のことを主題として提示される。コンマの後の部分は新情報であり、「前置詞+節+的+名詞」が表すことに説明する。

構造から見ると、節の部分には、動詞が含まれる。名詞句になる為に、後ろに「的+名詞」を加える。

また、例文(48)は(49)(50)と異なり、“关于”は“对于”に置き換えられない。なぜなら、(48)は判断を表す文であり、前置詞フレーズが表す内容に当たるのが判断動詞“是”の後ろの部分である。刘月华他(2000:288)と林松濤(2017:53)によると、“对于”は動作の対象を表す。(49)と(50)の動作は“问”「尋ねる」と“做出安排”「手配する」であり、“他们结不结婚的这件事”「彼らが結婚するかどうか」と“怎样提高工作效率的问题”「作業効率をどのように向上させるのか」は動作の対象である。しかし、(48)にはそういう行がないため、(48)には“对于”が使えない。

4.3 日中語の対応関係

主題を表す際に、日本語と中国語の分析を通し、複合格助詞或は前置詞の使用と主題になる節の構成が明らかにした。まず、主題になる場合には、複合格助詞「に関しては」「については」を使うことに対し、“关于”“对于”を使う。ただし、前置詞“关于”“对于”のどちらを使うのかについては、主題になる節が表す内容と動詞の関係により判断する。

そして、複合格助詞の前の節は「こと」「かどうか」「のか」をつけるため、その節を疑問引用節或いは名詞節と呼ぶ。一方、中国語の場合には、名詞句になる為に、「前置詞+節」の後ろに「的+名詞」を加える。したがって、主題になる節の構成が明らかにする。以上をまとめ、[表2]を作成した。

¹² ここは日本語と統一するため、中国語の場合にも「節」を使う。

表2 主題から見た複合格助詞「に関して」「について」と前置詞“关于”“对于”

	日本語	中国語
複合格助詞或 は前置詞の使 用	「に関しては」 「については」	動作の対象ではない: “关于”
		動作の対象: “关于”、“对于”
主題になる節 の構成	疑問引用節/名詞節+「に関して は」/「については」	動作の対象ではない: “关于”+節+的+名詞
		動作の対象: “关于”/“对于”+節+的+名 詞

5. 形式と意味から見た複合格助詞「に関して」「について」と前置詞“关于”“对于”

本節では、形式上と意味上が表す内容が異なる例文を収集し、先行名詞或は後続名詞と述語の特徴を研究する。これにより、日本語と中国語の相違点を明らかにする。

5.1 日本語の複合格助詞「に関して」「について」

森田・松木(1989:7)では、「複合格助詞の「に関して」と「について」は動作や行為が取り扱ったり関係を持ったりしている対象を指示する機能を果たす」と指摘している。

- (51) 俺も坂本に関しては結構知っているよ。
俺も坂本については結構知っているよ。
- (52) 患者について話す。
患者に関して話す。
- (53) 彼女は自分自身について何も語ろうとしない。
彼女は自分自身に関して何も語ろうとしない。

先行名詞と動詞の関係を分析すると、(51)から(53)までの例文では、有生物の先行名詞は「言語活動」や「認識活動」を表す動作の対象である。

形式から見ると、「に関して」「について」の先行名詞は命がある有生物である。意味を分析すると、(51)は話し手「俺」が対象「坂本」の性格や好き嫌いな食べ物などのように、

対象に関連することについて知っていることを表す。(52)は省略された「お医者さん」などの人が患者の家族に対象「患者」の症状について話すという意味を表す。(53)は同じく、「語る」の対象は単に有生物「自分自身」ではなく、「自分自身」に関することである。つまり、有生物の先行名詞は無生物に置き換えられる。

市川(2017b:22)によると、「言語活動」や「認識活動」を表す動詞の場合には、「に関して」「について」の両方とも使える¹³。そこで、この場合には、「について」と「に関して」の両方とも使える。

5.2 中国語の前置詞“关于”“对于”

本節では、中国語の前置詞の後続名詞が形式上と表す意味が異なる例文を分析し、特徴を明らかにする。

(54) 我 对于 屈原 了解的 更 深刻 了。
 *我 关于 屈原 了解的 更 深刻 了。
 (私 PREP 屈原 知る の より 深く 了₂)
 (私は屈原のことについてより詳しく知っています。)

(55) 我 对于 他 知道的 不 多。
 *我 关于 他 知道的 不 多。
 (私 PREP 彼 知る の 否定 多い)
 (私は彼のことについてよく知らない。)

以上の二つの例文には、前置詞フレーズは連用修飾フレーズになり、対象を表す。楊徳峰(2014:124)では、「“关于”は連用修飾語になり、主語の前にも置くことができます。“对于”は主語の前にも後ろにも置くことができます」と指摘している。したがって、“关于”を使うと、非文になる。

また、形式から見ると、この二つの例文の後続名詞“屈原”“屈原”“他”“彼”は有生物である。例文の意味を分析すると、「認識活動」を表す動詞の対象は後続名詞“屈原”“屈原”“他”“彼”に関することである。

¹³ 市川(2017:22)によると、Xについて／に関してYのYは以下の動詞が使える。

- ・ 事件や人物の状況を説明する動詞:話す、議論する、述べる、説明する、論じる等
- ・ 事件や人物の状況を調査する動詞:調べる、調査する、探る等
- ・ 物事や人物の状況を認識する或は考える:考える、知っている、熟慮する、熟考する等

(56) 关于 刘同学, 老师 做出 了 以下 评价。
 对于 刘同学, 老师 做出 了 以下 评价。
 (PREP 劉さん 先生 する 了, 以下 評価)
 (劉さんについて、先生は以下のように評価した。)

(57) 关于 他, 我 知道 的 不 多。
 对于 他, 我 知道 的 不 多。
 (PREP 彼 私 知る の 否定 多い)
 (彼のことについて、私はよく知らない。)

前置詞フレーズが文中に置かれる(54)と(55)と異なり、(56)と(57)の前置詞フレーズは文頭に置かれる。楊徳峰(2014:124)により、この二つの例文の前置詞フレーズは連用修飾語として使われるため、“关于”と“对于”が置き換えられる。

形式から見ると、後続名詞が有生物である。しかし、意味から考えると、(56)の「言語活動」を表す動詞の対象は「劉さん」の成績や性格などである。(57)の「認識活動」を表す動詞の対象は「彼」に関することである。有生物の先行名詞が無生物に置き換えられる。

5.3 日中語の対応関係

5.1 節の複合格助詞「に関して」「について」と 5.2 節の前置詞“关于”“对于”の分析を通して、以下のことが明らかになる。

日本語と中国語の相違点である。中国語は前置詞フレーズが置かれる位置により、“关于”と“对于”の使いが影響される。中国語とは異なり、日本語の複合格助詞を含む句は文に置かれる位置には影響されず、「に関して」と「について」のどちらでも使える。以上をまとめ、[表3]に示す。

表3 1 形式上と意味上が表示内容が異なるから見た複合格助詞「に関して」「について」と前置詞“关于”“对于”

	日本語	中国語
相違点	文に置かれる位置に影響されない	文に置かれる位置に影響される
複合格助詞或は前置詞の使用	「に関して」 「について」	文頭：“关于”と“对于”
		文中：“对于”

6. まとめ

本稿では、「統語」「主題」「形式と意味」の三つの角度から日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“关于”“对于”を対照した。

まず、「統語」を「語順」と「連体修飾フレーズ」に分類する上で、日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“关于”“对于”の共通点、相違点と対応関係を分析した。第1に、「語順」から研究すると、日本語の「先行名詞+複合格助詞」と中国語の前置詞フレーズの両方とも主語の前に置かれるという共通点がある。相違点は二つがある。一つは日本語の主語が省略できるが、中国語の主語が省略できないことである。いま一つは日本語がポーズに影響されないが、中国語がポーズに影響されることである。

第2に、「連体修飾フレーズ」から研究すると、日本語の複合格助詞「に関する」「についての」は先行名詞と被修飾名詞に影響される。もし、被修飾名詞は内容を持つ知的行為であり、先行名詞は被修飾名詞の内容に当たる具体的な事実なら、「についての」と「に関する」が置き換えられる。もし、先行名詞は具体的な事実ではなく、空想であるなら、「についての」だけが使える。日本語と対応する中国語は“关于…的”を使う。

次に、述語を含む節が「主題」になる場合、日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“关于”“对于”の対応関係と主題になる節の構成を明らかにした。第1に、中国語の前置詞“关于”と“对于”の使い分けは主題になる節が表す内容と動作の関係から判断する。もし、主題になる節が表す内容は動作の対象であるなら、“关于”と“对于”両方とも使えるが、主題になる節が表す内容は動作の対象ではないなら、“关于”だけ使える。日本語の複合格助詞「に関しては」「については」の両方とも使える。第2に、日本語の主題になる節は「疑問引用節/名詞節+「に関しては」/「については」」である。中国語の主題になる節は「“关于”/“对于”+節+的+名詞」である。

最後に、形式上と意味上が表す意味が異なる場合、日本語の複合格助詞「に関して」「について」と中国語の前置詞“关于”“对于”の相違点を分析した。日本語の複合格助詞「に関して」「について」は文に置かれる位置に影響されなく、中国語の“关于”“对于”は文に置かれる位置に影響される。もし、“关于”“对于”は連用修飾語として使われ、文頭に置くと、“关于”“对于”両方とも使えるが、文中に置くと、“对于”しか使えない。

出典

本稿の出典が明示されていない中国語の例文は著者の作例である。コーパス資料として、次の二つを用いた。

BCCWJ 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』

BCC <北京语言大学语料库>(『北京語言大学コーパス』)

略語

PREP 前置詞

了₁ 動詞、形容詞の後ろにおかれ、動作、変化、状態の実現を表す。

了₂ 文末におかれ、変化や変化に気づくことを表す。¹⁴

日本語で書かれた参考文献(五十音順)

荒川 清秀 (2003) 『一步すすんだ中国語文法』大修館書店.

庵 功雄・高梨 信乃・中西 久実子・山田 敏弘 (2000) 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク.

庵 功雄・高梨 信乃・中西 久実子・山田 敏弘 (2001) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク.

王 福祥 (2008) 『中国語談話言語学概論』(高橋 弥守彦、続 三義(訳)) 白帝社.

柏崎 雅世 (2005) 「「について」と「に関して」—「に対して」を視野に入れながら— 『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』第31号. pp.1-16.

金 仙姫 (1992) 「現代日本語における「についての」「に関する」「に対する」の用法上の差異の考察」 『東北大学文学部日本語学科論集』第2巻. pp.41-53.

まつもと ひろたけ (1979) 「に格の名詞と形容詞とのくみあわせ—連語の記述とその周辺—」 『言語の研究』むぎ書房.

斎藤 純男・田口 善久・西村 義樹(編) (2017) 『明解言語学辞典』三省堂.

斎藤 純男 (2020) 『言語学入門』三省堂.

三枝 令子 (2008) 「複合格助詞につく「は」—「について」と「については」—」 『一橋大学留学生センター紀要』第3巻第11号. pp.3-15.

朱 徳熙 (1995) 『文法講義—朱徳熙教授の中国語文法要説』(杉村 博文、木村 英樹(訳)) 白帝社.

尚 明輝 (2022) 『日本語の複合格助詞「に対して」「について」「に関して」と中国語の前置詞“对”“对于”“关于”の対照研究』新潟大学修士論文.

塚本 秀樹 (1991) 「日本語における複合格助詞について」 『日本語学』第10巻第3号. pp.78-95.

瀬戸口 律子 (2003) 『完全マスター中国語の文法』語研.

葛原 伊都子 (1984) 「～について」 『日本語学』第3巻第10号. pp.73-80.

中西 久実子・庵 功雄 (2010) 『日本語文法演習 助詞—「は」と「が」、複合格助詞、とりたて助詞など—』スリーエーネットワーク.

¹⁴ “了₁”、“了₂”についての解釈は荒川(2003:126-127)によるものである。

- 中西 千香 (2010) 「現代中国語“对”における機能分化について」『愛知大学言語と文化』第 22 号. pp.35-53.
- 日本語記述文法研究会(編)(2009a)『現代日本語文法 5 第 9 部 とりたて 第 10 部 主題』くろしお出版.
- 日本語記述文法研究会(編)(2009b)『現代日本語文法 2 第 3 部 格と構文 第 4 部 ヴォイス』くろしお出版.
- 日本語教育学会(編)(1982)『日本語教育事典』大修館書店.
- 野田 尚史 (1996)『新日本語文法選書 1 「は」と「が」』くろしお出版.
- 馬 小兵 (2002) 「日本語の複合格助詞「について」と中国語の介詞〈关于〉—その対応関係を中心に—」『日本語と日本文学』第 34 巻. pp.10-26
- 益岡 隆志・田窪 行則 (1992)『基礎日本語文法—改訂版—』くろしお出版.
- 森田 良行・松木 正恵 (1989)『日本語表現文型:用例中心・複合辞の意味と用法』アルク.
- 劉 笑明・吉田 則夫 (2004) 「「に対して」「にとって」「について」「に関して」の意味分析—日中対照の立場から—」『岡山大学教育学部研究集録』第 125 号. pp.101-106.
- 林 松濤 (2017)『つたわる中国語文法 前置詞・副詞・接続詞を総復習』東方書店.
- 劉 月華・潘 文娛・故 韡 (1996)『現代中国語文法総覧』くろしお出版.
- 楊 徳峰 (2014)『日本人が間違いやすい中国語文法—徹底分析 190—』コスモピア.

中国語で書かれた参考文献(ABC 順)

- 李 秉震 (2012) 《从隐现和替换看“关于”、“对于”的语义功能》(「可視性と置換の観点から“关于”、“对于”の意味機能について」)《中国语文》第 2 期. pp.139-148
- 呂 叔湘 (1999) 《现代汉语八百词》(『現代中国語の八百語』)商务印书馆.
- 劉 富華・古川 裕 (2013) 《对日汉语语法教学》(『中国語文法の教えかた—日本人学習者にどう教えるか』)北京语言大学出版社.
- 劉 月華・潘 文娛・故 韡 (2001) 《实用现代汉语语法》[第二版] 商务印书馆.
- 馬 貝加 (2014) 《汉语动词语法化》(『中国語動詞文法化』)中华书局.
- 馬 小兵 (2015) 「日語複合格助詞「について」的語法特点」『文教大学大学院言語文化研究科紀要』第 1 巻. pp.83-93.
- 市川 保子(著)(2017a) 《初級日語语法新解》(『初級日本語文法新解』)(叶 欣、趙 淑玲(訳)) 北京大学出版社.
- 市川 保子(著)(2017b) 《中級日語语法新解》(『中級日本語文法新解』)(叶 欣、趙 淑玲(訳)) 北京大学出版社.